編 集 後 記

はまま、 込里塩床≯♪☆☆漬の方、塩床♪シュな空気をお届けできたでしょうか。です。新年度の始まりにふさわしいフレッです。新年度の始まりのある日発行号刊行スケジュール変更後の初4月発行号

本誌は、心理臨床学会会員の方、臨床心理学を学ぼうとしている方、心理臨床の利理学を学ぼうとしている方、心理臨床の利力に向けて、それぞれ特集とコーナーを組んでおりますが、今号では「繋がり」をそんでおりますが、今号では「繋がり」をそれらの共通のテーマとしました。3つの内容が繋がり、互いに補い合い、すべての対象の方々に関心を持っていただけることを象の方々に関心を持っていただけることをかった。それはまた、この3つのグループの方々が繋がり、補い合い、心理臨床をより豊かにしていくことにもなるのかたをより豊かにしていくことにもなるのかと夢を膨らませております。

巻頭対談では、東京パラリンピックのマラソン(視覚障害のあるクラス)で金メダラソン(視覚障害のあるクラス)で金メダラソン(視覚障害のあるクラス)で金メダーの関係やそれを築き維持する方法についとの関係やそれを受ける人としてではなく、互る人とそれを受ける人としてではなく、互る人とそれを受ける人としてではなく、互る人とそれを受ける人としてではなく、互いに支え合い、共に成長する人とのマースがる姿勢といえるでしたう。

う孤立や孤独について、お書きいただきまられ立や孤独について、特集2では、心理臨床に携わるうえで欠かせない自らのセイフティネッるうえで欠かせない自らのセイフティネッをいり、人との繋がりをつくる様々な場さわしく、人との繋がりをつくる様々な場とが、新生活の始まりの時期にふちが、

ます。

申し上げます。 (広報委員 山中淑江) 申し上げます。 (広報委員 山中淑江) 中し上げます。 (広報委員 山中淑江) 中し上げます。 (広報委員の皆様にもお礼をつく進行にもかかわらず、辛抱強くご協力でが、そのためには周到な準備と強力なリーダーシップが必要だったのでした。もたつく進行にもかかわらず、辛抱強くご協力でく進行にもかかわらず、辛抱強くご協力でく進行にもかかわらず、辛抱強くご協力でく進行にもかかわらず、辛抱強くご協力でく進行にもかかわらず、治験となりあれる。

務局だより

事務局担当の一年五か月はコロナで経過事務局担当の一年五か月はコロナで経過した。決定機関の理事会、日常の業務執行した。決定機関の理事会、日常の業務執行した。決定機関の理事会、日常の業務執行した。決定機関の理事会、日常の業務執行でも悔しいのは、我々にとって、クライエントとの生き生きした関わりや対応を学エントとの生き生きした関わりや対応を学エントとの生き生きした関わりや対応を学エントとの生き生きした関わりや対応を学エントとの生き生きした関わりや対応を学エントとの生き生きした関わりや対応を学エントとの生き生きした関ができなった。とののエミー関催に大きな収穫もあった。こののエミー開催に大きな収穫もあった。こののエミー開催に大きな収穫もあった。こののエミー

ショップ」など、各々上限一〇〇〇~三〇 サービスで現地開催の雰囲気と会話を楽し して新たな学びを得る「体験型ミニワーク 門家のフィードバックを受け研究計画を練 を生かした臨床経験や理論・見方・個人的 みられた。本学会特有の多様な現場や人材 b研修が第四○回大会実行委員長の手で試 ティングとZoomウェビナー併用 収穫であった。 会企画にWeb常設の席が与えられたのは ○人増え一万人の参加があった。今後の大 た。Web研修は好評で昨年度から二〇〇 む散策の場「オープンフォーラム」であっ ○名収容で設定され、さらにwonder ヨガやダンス等の身体をほぐし気分転換を ってゆく「リサーチコンサルテーション」 な背景を引き出す双方向のグループ討議の **「構造化デイスカッショングループ」/専** /心理臨床家がインストラクターとなって (副理事長 乾 ! 吉佑)

お知らせ〉

をお届けするべく、本誌「心理臨床の広場」このたび、より皆様の情勢にあった内容

ました。の刊行スケジュールを変更することとなり

【変更前】→【変更後】

毎年2号(3月発行)→毎年2号(9月発行)→毎年1号(4月発行)

期待いただけましたら幸いです。 よう、雑誌づくりに取り組む所存です。ご 今後もさらに有益な情報をお届けできる

(おわびと訂正)

下のように訂正して、お詫びいたします。アにおいて、記載ミスがございました。以第14巻1号54頁の大学院リストの関東エリ

(正)「茨城大学大学院教育学研究科」 →

人間総合科学研究群博士前期課程」 人間総合科学研究群博士前期課程」→ 人間総合科学研究群博士前期課程」→ 誤)「茨城大学大学院人間総合科学学術院

心理臨床の広場 Vol.15 No.1

岩倉

2022年4月1日発行

●編集委員

●広報委員

大島啓利 東畑開人 奇 恵英津川律子 山中淑江 大塚紳一郎 野村れいか 嘉嶋領 子 日 野 映 宗祥子 堀 田 亮 重 髙橋 紀子 松本聡

拓 鶴

光 代

山崎孝明

●協力委員

●編集協力/製作 株式会社創元社 〒 541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-6 TEL 06-6231-9010

徳田智代

櫻庭真弓

● 発行 一般社団法人 日本心理臨床学会 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 5 階 TEL 03-6273-4061 FAX 03-5223-2755

ムページ URL https://www.ajcp.info/

● 印刷製本 株式会社太洋社

次回予告(2022年9月発行)